

『学習用DVD 放射線のホントのこと 下巻 社会科編 いま、福島は?』完成しました

原子力教育を考える会 根岸 富男

学習用DVD下巻『放射線のホントのこと 社会科編 いま、福島は?』ようやく完成しました。

昨年完成した上巻では、放射線を理科の授業で取り上げるような内容が主になりました。今度の下巻では、福島各地に取材を重ね、原発事故以後の福島の人々の暮らしが放射線の影響によっていまどうなっているか、できる限り生の声をお伝えしようと思い、さまざまな方のインタビューを中心に構成しています。



双葉町斎藤さん 400年続いた農家

2018年春、事故から7年目が過ぎようとしています。福島とその周辺の被災地では、帰還復興のかけ声のもと、原発事故がなかったかのような状況がみられます。一方、被災地以外では事故被害報道の風化が進み、マスコミは触れなくなっていますし、学校でもほとんど取り上げられなくなっています。しかし、未だに福島では自宅から"避難"している方々が7万人以上。うち、仮設避難住宅にいらっしゃる方は1万2000人あまり。福島の人々の思いや、人々がどのような状況に置かれているか、こどもたちにはもちろん、私たちにもその実態は知らされていません。

とりわけこどもたちは、日本各地の原発の廃炉や、使用済み核燃料・高レベル核廃棄物の処理処分など、今後長い年月にわたってその負担を覚悟していかなければなりません。私たちは、そうしたこどもたちにこそ、原発事故後の福島のいまを伝えたい、そんな思いでこのDVD教材を制作しました。

2015年秋から2018年1月にかけて、スタッフはのべ13回も福島を訪れ取材しました。福島市を始め、飯坂温泉・飯舘村・浪江町・南相馬市・富岡町・大熊町・双葉町・広野町・いわき市・二本松市・郡山市・田村市・三春町・鮫川村・・・などなど、福島各所を訪れ、取材をして参りました。いまの福島を知る格好のDVDです。

上巻：22分、下巻：35分、併せて¥1500 送料¥180

予約・お問い合わせ neg@jca.apc.org 根岸

■おもな内容■

◆避難地域拡大アニメ ◆双葉町400年続いた農家 ◆浪江町請戸：津波と原子力災害 ◆避難地域区分 ◆除染作業と避難指示解除 ◆富岡町：避難指示解除の家の現実 ◆南相馬市小高：家の周りの除染 ◆いわき市から自主避難 ◆仮設避難住宅の暮らし ◆こどものいじめ ◆甲状腺検査：3.11甲状腺がんこども基金 ◆チェルノブイリと福島 ◆ベラルーシのこども保養施設ナデジダ ◆避難指示解除をめぐる：線量基準 ◆各地の取り組み（飯舘村・菅野村長インタビュー、福島市・公園の放射線測定、相馬農業高校、三春町産直野菜販売会、原発訴訟）◆帰還復興と避難する権利 ◆子ども被災者支援法 ◆こどもの保養活動・鮫川 ◆被災者に寄り添う大学生ボランティア活動 ◆何ができるか自分で考えよう